

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

平成29年7月号 No.122

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

平成28年版 森林・林業白書

森林と林業に関する動向と施策をまとめた「平成28年度 森林・林業白書」が、平成29年5月26日に閣議決定され、平成28年度の森林及び林業の動向と平成29年度に講じようとする施策について公表された。

「平成28年度森林・林業白書」は、この一年間における森林・林業の動向や主要施策の取組状況を中心に国民の関心と理解が深まることをねらいとして作成され、トピックスと下記の6つの項目で構成されている。今回はトピックスの概要を紹介します。

第Ⅰ章 成長産業化に向けた新たな技術の必要性 第Ⅱ章 森林の整備・保全 第Ⅲ章 林業と山村
第Ⅳ章 木材産業と木材利用 第Ⅴ章 国有林野の管理経営 第Ⅵ章 東日本大震災からの復興

トピックス

1. 新たな森林・林業基本計画の策定

- 資源の循環利用による林業の成長産業化、原木の安定供給体制の構築、木材産業の競争力強化と新たな木材需要の創出に向けた取組を推進すること。
- 林業・木材産業の成長を通じて地方創生への寄与を図る。
- 地球温暖化の防止や生物多様性の保全への取組の推進。

2. 「森林法等の一部を改正する法律」の成立

- 森林・林業・木材産業を巡る諸課題に法制面から対応するため、平成28年5月に「森林法等の一部を改正する法律」が国会で可決・成立し、同5月20日に公布された。この法律は「森林法」、「分収林特別措置法」、「森林組合法」、「木材の安定供給の確保に関する特別措置法」及び「国立研究開発法人森林総合研究法」の計5本の法律の一部改正。これらの改正により、適切な森林施策を通じて、森林資源の再造成の確保、国産材の安定供給体制の構築及び森林の公益的機能の維持増進を図っていく。

3. 「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」(クリーンウッド法)の成立

- 木材関連事業者は、取り扱う木材等が我が国又は原産国の法令に適合して伐採されていることの確認など合法伐採木材等の利用を確認するなどの措置を講じることとされている。また、このような措置を適正かつ確実に行う木材関連事業者は、登録実施機関の登録を受けて、「登録木材関連事業者」の名称を使用できることとされている。これにより、自然環境の保全に配慮した木材産業の持続的かつ健全な発展を図り、もって地域及び地球の環境の保全に資することが期待される。

4. CLTの普及に向けた基準の整備と新たなロードマップの公表

- 我が国では、中高層の建築物や低層の非住宅の分野では、建物の木造率は低い状況にある。一方で欧米諸国では「CLT(Cross Laminated Timberの略)(直交集成板)」という新たな木材製品を建築物の壁や床等の建物に活用して、木造の共同住宅、オフィスビル等の建築がすすめられている。我が国においても、CLTの普及を契機として、こうした木造の中高層建築物等の建築が進み、新たな木材需要が創出されることが期待される。

5. 平成28年熊本地震や台風災害の発生と復旧への取組

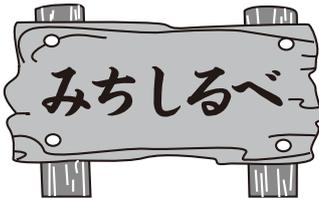
- 平成28年4月14日～16日にかけて、熊本県熊本地方から阿蘇地方にかけて最大震度7から6強の地震が相次いで発生した。その後も、熊本県から大分県にかけて地震活動が活発な状態が続き、震度4以上は累計で140回観測している。一連の地震により死者161名(関連死含む)負傷者2,692名、住宅の全壊8,369棟、半壊32,478棟、一部破損146,382棟など甚大な被害が発生した。

林野庁では地震発生直後から、被害状況の把握や復旧に向けて現地へ本庁職員を派遣するとともに、4月15日及び18日には九州森林管理局が熊本県や国立研究開発法人森林総合研究所と合同でヘリコプターによる上空からの被害調査を実施した。

6. 森林・木材産業関係者が天皇杯等を受賞

- 林業・木材産業の活性化に向けて、全国で様々な先進的取組がみられ、このうち特に内容が優れていて、広く社会の賞賛に値するものについては、毎年、秋に開催される「農林水産祭」において天皇杯等三賞が授与される。

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



江戸 その1

名古屋港木材産業協同組合
理事長 嶺 木 昌 行

「江戸」という地名は鎌倉時代からあったようであるが、江戸が、そして東京が日本の中心になったのは、徳川家康が江戸幕府・徳川幕府を開いたことがきっかけになっている。

江戸幕府を開いた徳川家康は、1590年の秀吉の小田原北条攻めに加わり勝利を取めたにもかかわらず、この時秀吉は、これまで徳川の領地であった三河・遠江・駿河・甲斐の4州を家康から取り上げ、江戸を含む関八州（関東平野）への移封を命じている。この移封は、家康が長年かけて積み上げてきたものをそっくり秀吉が奪い、未開地の江戸以東を開拓せよという身勝手なもので、徳川一族には到底耐え難いものであったと歴史書では評価されている。しかし私は、家康は案外この申し入れを歓迎しており、むしろそのように秀吉に仕向けたのではないかとさえ思う。その理由の第一は、家康はこの頃になると秀吉の年齢も含めた限界を見抜き、やがて来る徳川時代に備え、万全なる国づくりを頭に描いていたと思うからである。つまり、江戸を含む関八州は京都（公家）・大阪（豊臣政権）から遠く離れ、古い体質の影響を受けにくく、かつ未開地ゆえに家康の政策がそのまま浸透しやすい利点があったと思われるからである。また、三・遠・駿・甲の4州は徳川色が強く残った地であり、一旦手放してもすぐに取り返せる自信があったからである。現に、10年後の関ヶ原の合戦の勝利により、再び自分の手に取り戻している。

秀吉の命令に従ったふりをした家康は、さっそく江戸づくりに励んでいる。最大の難関、利根川の利水に着手し、関東平野を人も住めぬ大湿地帯から一大農園地帯に改良し、徳川政権を支える米の生産高を大幅に上げたのである。同時に、江戸と各地を結ぶ道路（街道）や水路の開発に努め、さらには豊臣政権からは独立した通貨（大判小判）も鑄造し、やがて江戸の金座・銀座は日本を席卷するようになる。家康の目指した江戸は、当初こそ秀吉に気を使っていたが、やがて日本を統率する能力を持つ都市づくりであり、特に、戦争の起さない平和な天下を目指すものであった。

家康は、長男の秀忠を本家・江戸城の城主に、3人の子どもたちは分家し、尾張徳川・紀伊徳川、そして水戸徳川として江戸本家を守ること、すなわち天下泰平を目指したのである。名古屋城は陸路の要所に位置し、西からの陸の侵攻に備える砦の役目を果たし、紀州城は西からの海の砦、水戸城は北から侵攻するものを見張る北の砦の役目を果たしている。後日談であるが、幕末に薩長連合軍が西から押し寄せた時、本来西の砦である名古屋城の14代藩主徳川慶勝は、薩長軍と戦うことなく無血で尾張を通過させている。この時、本家の15代将軍徳川慶喜は既に大政奉還をしており、薩長軍が天皇に認められた官軍となった以上、これに抗うことは日本の平和を乱すものとしてスルーさせているのであり、その後の江戸城無血開城も、徳川平和主義の象徴と私は想像する。

秀吉の死後、西暦1600年の関ヶ原の合戦では、豊臣派の大名を分散・非力化させる一方、好戦派大名（加藤清正・福島正則ら）の力を削いでいる。そして1603年に征夷大将軍に任ぜられ、江戸幕府が公認されると、着々と平和国家づくりにまい進することとなる。そして「太平の眠り」と言われる250年に及ぶ平和な日本をつくり上げたのである。現在、名古屋城の木造復元化が河村市長を中心として進められつつあるが、私たちは、家康が目指した平和国家、そのシンボルとしての名古屋城の木造復元化を叶えたいものである。

◆ 合縁木縁 ◆

「至福のひと時」

今から20年ほど前、私は今よりスリムな体型をしておりました。(信じてもらえないかもしれませんが・・・)当時はバスケットボールのチームに所属し、週に1~2日はしっかり体を動かしており、結構大食いの部類ではありますが、体型を維持できておりました。しばらくすると集まれるメンバーが減り、チームは自然消滅してしまいました。

私の大食いは以前と変わらないまま体を動かす機会が無くなり、体重が20kgほど増加してしまいました。20代30代前半の頃は気付きませんでした。体に負担が掛かっていたらしく、不惑を迎えた頃から急激に体力の衰えを感じ始め、免疫力が低下し風邪もひきやすくなり、それまで殆ど無縁だった病院に二度も入院しました。

ちょうど2年前、会社の上役から自身が通っているスポーツジム(プールだけのコース)に誘われました。家の近所だったことや「泳いだ後のサウナは最高だ」という触れ込みに心が揺れ動き、昔みたいな体型を取り戻したい一心で入会しました。

入会当初は、200m(25mプール4往復)泳ぐと体が悲鳴を上げ、立ってられないほどの状態でしたが、しばらくすると500m(25mプール10往復)は普通に泳げるようになり、最高で1,000m(25mプール20往復)を泳いだ日もありました。(もちろん休憩を入れて)プールに1年半ほど通いましたが、残念ながら思った程に体重は減りませんでした。

昨年末に再度その上役から「新しいスポーツジムがオープンする。今度はプールだけでなくランニングマシンやエアロバイク、筋トレ用の器具も多数揃っているからそちらに移らないか」と誘われて変わることにしました。さすがに新規オープンしたジムだけあって器具は最新式でプールも新しく快適です。水泳と筋力アップの相性が良かったみたいで、体重が半年で6~7kg落ち、ベルトの穴の位置も変わってきました。代謝も良くなってきたのか、風邪もひきにくくなりました。

最近では利用者の少ない時間を見計らってジムに行き、運動後にサウナを独り占めして「至福のひと時」を味わっております。

今回は、(株)東海プレカット 林 雄一朗氏にお願

木場すずめ

『木は育つ』

梅雨の鬱陶しい季節ですが、この時期、西部木材港の当社の倉庫の裏のビワの木に、薄黄色の実がたくさん生ります。

このビワの木、20年ほど前に先代社長の自宅の庭に生ったビワを、沢山とれたから、と会社に持ってきて、そのタネを倉庫裏に捨てたのが自然に根付いて成長したものです。

完全に放置しており、剪定も摘果もしていませんから、実は小粒で見た目も悪く、最近では、給料日前の金欠で昼飯代も儘ならない若手社員が空腹をしのぐのに食べるぐらいで、ほとんどがカラスやヒヨドリのお餌になっていますが、食べてみれば、みずみずしい初夏を思わせる甘味があります。

埋立地のコンクリートの隙間みたいなどころですら、20年も経てば、ビワもタネから育てて沢山の実をつけるようになった訳です。因みに、ビワの木は、乾燥させると固くて粘りがあり、昔は杖の材料にされていたそうです。

西部木材港が開港して50年、いつ誰が植えたのかは知りませんが、302号線沿いの緑地帯の桜の木は、毎年、なかなか見事な花を咲かせます。

当社の西部営業所を開設したのはちょうど30年前の1987年ですが、開設当時、緑地帯に植えた木も、気が付けばそこそこの大きさに育ち、雑木林のようになっています。

蛇足ながら、私がまだ学生だったころ、人工林の信州カラマツは細い、ねじれる、曲がる、の欠点だらけで、杭丸太以外に有効な利用方法はないのか?が信州林業界の重要課題でしたが、それから30年、最近では天然カラマツに匹敵する「プレミアム信州カラマツ」なるブランド材として売り出すようになったとか。30年前の課題の答えは「木が育つのを30年待つ」だった訳です。

日頃、商品や材料としてしか木材を見ていませんが、消費するばかりではなく、身近の空いている処に木を植え、育つのを待つのは悪いことではありません。

将来、誰かの癒しになるか?小遣い稼ぎの種になるか?

ビワの木で、年老いた自分専用の杖を作るのは楽しいかも?と夢を膨らませる次第です。

お知らせ

☆☆☆ 親子ふれあい木工教室 ☆☆☆

飛鳥村公民館主催の「親子ふれあい木工教室」が6月25日(日)午前10時から、飛鳥村公民館2階の木工教室で開催され、飛鳥村在住の12組の親子が参加しました。



当日は、名古屋港木材産業協同組合広報委員の材惣木材(株) 成瀬委員、服部産業(株) 秦野委員、(資)稲生製材 稲生委員の3委員と柿内事務局長が参加。稲生委員が、準備した椅子の材料の木を紙やすりで丁寧に磨くところから始まり、座面の生地を各人の好みで選び、工業用のホッチキスの使い方を教えてもらいながら天井板に張り付け、予めくり抜いてあった木材の穴に接着用のボンドを流し込んで足を組んでいきました。

お父さんやお母さんは、お子さんたちの奮闘ぶりをじっと我慢して見守りながら、立派な椅子の完成を喜んでいました。

ただ、用意したホッチキスが、少なかったこともあって終了予定時間を30分ほど延長してしまいました。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

特定外来生物「ヒアリ」及び「アカカミアリ」への対応について

去る5月下旬以降、兵庫県尼崎市や神戸港のコンテナヤードにおいて、特定外来生物であるヒアリが確認されました。名古屋港においても、6月27日に愛知県弥富市の鍋田ふ頭コンテナターミナルにおいてヒアリと疑われる個体が発見され、専門機関による同定の結果、6月30日にヒアリであることが確認されました。

環境省の発表によると、現時点では、ヒアリが当該地域周辺に定着し繁殖している可能性は低いと考えられますが、港湾関係者の方々におかれましても施設の点検等に取り組んでいただくとともに、万一、ヒアリ等の発見時には下記のパンフレット等を参照の上、十分注意して適切に対応してください。

なお、ヒアリ等を発見した場合には、環境省中部地方環境事務所、名古屋港管理組合にご一報ください。

【参考/パンフレット等】

- (パンフレット)ストップ・ザ・ヒアリ ※判別方法は、4ページ。
https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/files/r_fireant.pdf
- 同定マニュアル ※ヒアリは、13、14ページ。アカカミアリは、15ページ。
<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/manual/konchu.pdf>

【連絡先】

- 環境省中部地方環境事務所(平日 8:00~17:15) TEL 052-955-2139
- 名古屋港管理組合
 - 平日(8:45~17:30) 港官部港営課 TEL 052-654-7873
 - 上記以外 総務部危機管理課 TEL 052-654-7886

◆ 広告コーナー

http://www.iidakg.com

育て木材の未来
IIDA 独創の未来を拓きます



各種木工機械・産業機械・レーザー加工機・試験機の総合メーカーです。

飯田工業株式会社
 本社 愛知県小牧市大字村中153番地 ☎485-8655
 TEL0568-75-5321 FAX0568-75-5329
<http://www.iidakg.com> E-mail:gyomu@iidakg.co.jp

人と環境のことを一番通じて考えています

どう使う!? **中国木材株式会社**

ムク・ボード

国産スギ・国産ヒノキ
床倍率3.0倍 (標準サイズのみ)
F★★★★

イ味イであつて
イイですよ。

標準サイズ
厚み: 24, 28
大きさ: 910×1820
955×1910
単位: 箱 1000×2000

活用術はコチラ  **中国木材** 検索

発行 **名古屋木材組合**
 発行者 西垣洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 **名古屋港木材産業協同組合**
 発行者 嶺木昌行
 〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会